MEMO

お問い合わせ

〒238-0046
神奈川県横須賀市西逸見町1丁目無番地
海上自衛隊　横須賀地方総監部　広報係
TEL046-822-3500

海上自衛隊オフィシャルサイト

自衛官募集情報

ようこそ「ま や」へ

本日は、護衛艦「まや」へご来艦くださいまして、誠にありがとうございます。乗員一同心から歓迎いたします。

「まや」は、海上自衛隊7隻目のイージス戦闘システム搭載護衛艦です。こんごう型（こんごう、きりしま、みょうこう、ちょうかい）、あたご型（あたご、あしがら）に次ぐ、まや型（まや、はぐろ）の1番艦として、JMU株式会社横浜事業所磯子工場で建造され、令和2年3月に就役しました。

本艦は、イージス武器システムにおける対空戦闘能力のみならず、対弾道ミサイル戦闘、対水上戦闘、対潜水艦戦闘においても、優れた能力を誇る護衛艦です。

海上自衛隊の任務である「海上からの侵略に対し我が国を防衛するとともに、我が国周辺海域における海上交通の安全確保」の一翼を担うべく、乗員一同艦の全能発揮を目指し、日々訓練に励んでおります。本日は、時間の許す限り艦内をご覧いただき、「まや」と海上自衛隊についてご理解を深めていただければ幸いに存じます。

ま や 艦 長

WELCOME ABOARD

On behalf of the officers and crew of JS MAYA (DDG179), we wish to extend our guests a warm and hearty welcome.

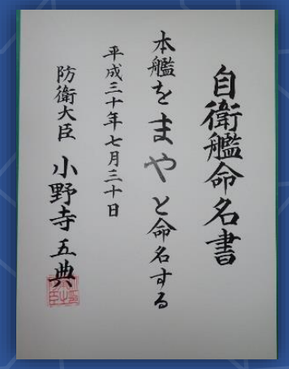
JS MAYA, the 7th AEGIS Destroyer of JMSDF, was commissioned in March 2020. This is a first ship of the JS “MAYA” class next to JS “KONGO” and JS “ATAGO” class.

Manned with a skilled and dedicated crew, JS MAYA has superior capability for anti-air warfare in the AEGIS system, anti-ballistic missile, anti-surface and anti-submarine warfare.

All the crew are well-trained to operate ship’s system in pursuit of various missions.

We hope your stay aboard JS MAYA will be a thorough introduction to our activities.

「ま や・摩 耶」の歴史 HISTORY



護衛艦の艦名は、天象、気象（月、日、雨、雪、霧、霜、雲、四季等）、山岳、河川、地方の名称から採用されます。

イージス艦の艦名には、一貫して山岳名が使われており、「まや」は兵庫県神戸市灘区、六甲山地の中央に位置する「摩耶山」に由来します。

また、海軍時代から数代に渡り使用されている艦名も多く、本艦は初代摩耶から数えて、三代目「まや」となります。摩耶山にある天上寺の境内には、「軍艦摩耶之碑」が建立されています。

➢ 初代「摩 耶」

神戸で建造され1888年に就役した砲艦で、初期の海軍にあって鋼製船体の皮切りとなった艦の1つです。日清戦争、日露戦争には同型の「愛宕」「鳥海」とともに活躍しました。

両艦とも現在のイージス艦にその名前が付されています。

全　長　46.85m
排水量　622t
乗　員　111 名

資料提供　大和ミュージアム

➢ 二代目「摩 耶」

神戸の川崎造船所（現、川崎重工業）で建造され、高雄型重巡洋艦の4番艦として1932年に就役しました。横須賀を母港とし、ガダルカナル島の戦い、ソロモン海戦等で活躍しましたが、1944年10月23日、レイテ沖海戦において米潜水艦の雷撃により、最期を迎えました。

なお、2019年4月、フィリピン諸島パラワン島沖の海底で、「摩耶」と思われる沈船が発見されました。

全　長　203.76m
排水量　14,250t
乗　員　996 名

資料提供　大和ミュージアム

主要兵装 MAIN WEAPONS

イージス戦闘システム(ACS:Aegis Combat System)は、数十個のエレメントから構成され、その中の一部がイージス武器システム(AWS:Aegis Weapon System)を構成します。

AWSは、上空からの同時攻撃に対処するため、高度に自動化された対空戦闘システムです。脅威となる対空目標の捜索、識別、攻撃目標の選定、武器の割当て、ミサイル発射管制及び攻撃評価に至る、全てのプロセスがコンピューターによって完全自動化されています。

海上自衛隊で初めて「まや」に装備されたCEC(Cooperative Engagement Capability)は、射撃計算に使用できる高精度の情報をリアルタイムで共有する装置です。運用の一例として、味方航空機が探知した目標情報を共有することで、水上艦の死角である水平線以遠から近接する低高度目標を、自艦がレーダー探知していなくても迎撃可能となります。

⑤IFF
Identification,Friend or Foe system

⑥CEC
Cooperative Engagement Capability

⑦SPQ-9B
HSRS:Horizon Search Radar System

⑧EOSS
Electro Optical Sensor System

⑨SPY
Multi Function Radar System

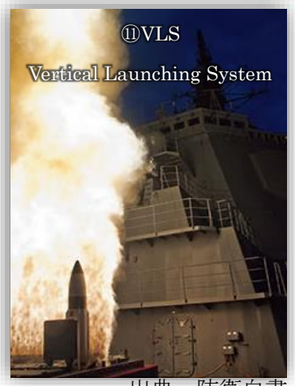
⑩5inch 62caliber Gun

①PWS
Phalanx Weapon System

③SSM
Surface to Surface Missile

②FCS
Fire Control System

④OTST
Over The Side Torpedo Tube


⑪VLS
Vertical Launching System

出典　防衛白書

弾道ミサイル防衛　BMD OPERATION

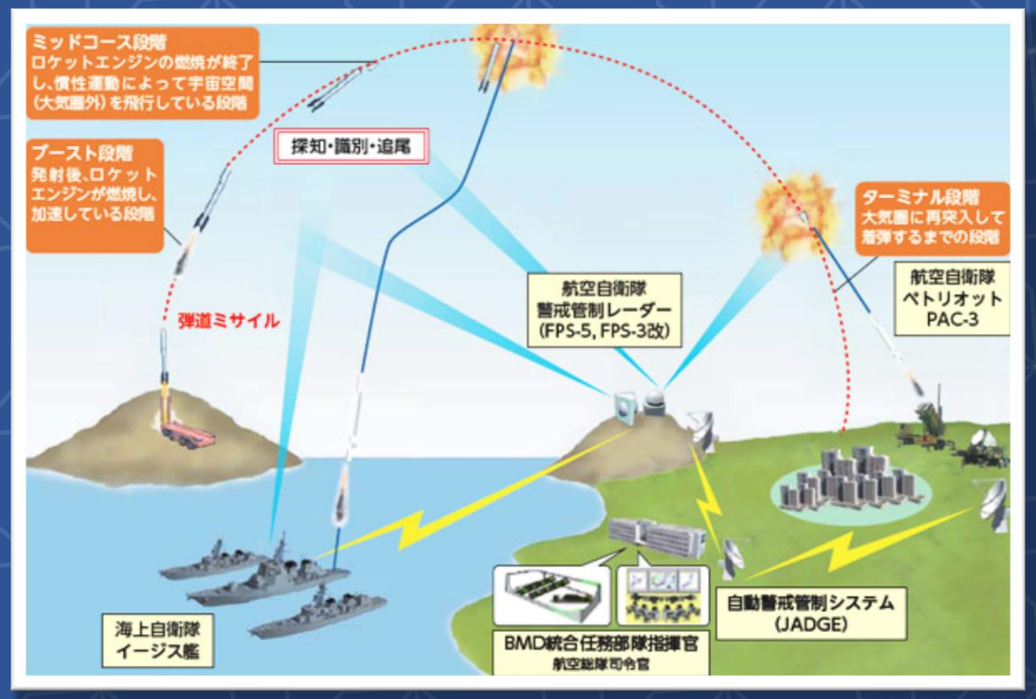
我が国を取り巻く安全保障を踏まえ、防衛省・自衛隊は弾道ミサイル攻撃への対処能力を向上させるため、所要の整備を進めています。

平成２９年及び３０年に、「あたご」・「あしがら」を改修し、弾道ミサイル防衛(BMD:Ballistic Missile Defense)能力を付与しました。

また、平成27年度及び28年度予算で、BMD能力を有するイージス艦2隻「まや」・「はぐろ」を追加取得しました。

さらに、より高性能化・多様化する弾道ミサイルからの脅威に対処するため、イージス艦に搭載するSM(Standard Missile)-３・ブロックＩＡ，ＩＢの後継となるBMD用能力向上型迎撃ミサイルSM-３・ブロックⅡＡを日米共同で開発しました。

下図は、我が国の弾道ミサイル防衛の構想を示しており、自動警戒管制システム(JADGE：Japan Aerospace Defense Ground Environment)、イージス戦闘システム搭載護衛艦及び対空誘導弾・ペトリオットPAC-3を連携させて効果的に行う多層防衛を基本としています。



出典　防衛白書

主要要目　PRINCIPAL

起　工	平成 29 年 4 月 17 日	Keel laying	April 17,2017
進　水	平成 30 年 7 月 30 日	Launched	July 30,2018
就　役	令和 2 年 3 月 19 日	Commissioned	March 19,2020
建造所	JMU 株式会社 横浜事業所磯子工場	Builder	Japan Marine United Corporation Isogo Works,Yokohama Shipyard
全　長	170m	Length	558 feet
最大幅	21.0m	Beam	69 feet
深　さ	12.0m	Draft	39 feet
排水量	8,200t	Displacement	8,200 tons
定　員	約 300 名	Complement	Approx. 300 persons
主　機	ガスタービン 2 基 推進電動機 2 基	Main engine	Gas turbine 2sets Electric motor 2sets
推進器	可変ピッチプロペラ 2 基	Propellers	Controllable pitch propeller 2sets
軸出力	50,700kw (69,000 馬力) / 2 軸	Output	50,700kw (69,000ps) / 2shafts
速　力	最大時速　約 55km/h	Speed	Max Approx.30knots

イージス艦として、初めてハイブリッド推進COGLAG方式(COmbined Gas turbine eLectric And Gas turbine)を採用している。電機モーター推進と、ガスタービン推進を組み合わせた機関の形式で、燃費の向上を図っています。

ロゴマーク　LOGO

全体を黒地に金色の図柄とすることで、国内外で活躍する自衛艦の気高さと力強さを表現しています。

また、横向きの艦のシルエットは堂々たる雄姿を、下部の錨と桜は海上自衛隊の伝統と志を表しています。

さらに、連なる峰々は六甲山地であり、古くは８つの国々が見渡せることから八州峰とも呼ばれ、艦名の由来となった摩耶山を中央に大きく配置することで、イージス艦「まや」の全方位警戒と、盾として象徴される役割を表しています。